



新組長 挨拶



▲組長 木村英昭

員弁組13日講のあるご住職から、「私の後任に」という要請を平成19年の秋に受けて、13日講の講長をさせていただいた。あれから十数年。昨年10月25日、私のもとに同じご住職から連絡が入った。今回は次期員弁組長選考委員会なるものの結果報告という電話であった。

私が住持しているお寺の先代住職はその日の晩に84歳で往生した。

私が婿養子の形で転籍入寺してから20年余りが経つが、先代住職はそれまでに、たいへんな苦勞を重ねたであろうと推察する。戦後間もない昭和22年、先代住職がまだ12歳の時に、先々代住職は亡くなった。早くからお寺の後継護持を期待された境遇だった。入院三週間、最後の数日は意識が無かったので、組長打診を知らずじまいでした。私に組長の話が来たと話したらなんて言うかな、と今でも思う。

昨年度までの4年間は、石本龍憲組長さんから依頼を受けて、組主任というポストでいろいろな経験を積ませてもらいました。

そしてこの度、組長をさせていただくことになりました。毎年4月8日に行われている員弁組の組会も、各寺院僧侶・門徒総代1名ずつ参加の、例年のような形での組会ができませんでした。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、時間差を設けての投票形式のみで行われました。一同で顔を合わせる機会もなく、また十分な挨拶をする機会も他になく今日まで来てしまいました。

員弁組には門徒総代会をはじめ、仏教婦人会連盟、仏教壮年会連盟、寺院女性連盟、門徒推進委員会等多くの教化団体・教化組織がありますが、今年2月以降のコロナ禍により、ほとんどのご門徒さん向けの組活動は自粛の只中にあります。

例年開催している、100人を超えるような規模の組仏婦研修会や組門徒総代の集いは既に延期または中止が決まっていますし、緊急事態宣言が出ていた前後の諸会議は延期または書面表決でした。他にもソーシャルディスタンスをとれない集まりや会議も実施は難しいとして、延期または中止されました。また、観光バス使用の研修旅行、少年連盟や子どもさんの参加を募る形の集まりや、各講で開催の研修会や会議も同様です。延期、中止、自粛の波がいつ収まるのか、まだまだ先の見えない日々がつづくことでしょう。

それぞれが、それぞれのお立場でできることをお考えいただき、コロナウイルス感染症の状況を見ながら、規模縮小しつつ、当面は無理のない活動をお願いしたいと思います。

また、各寺院においての活動も同様に、延期、中止、規模縮小等が行われている事例がたくさんあります。各人で感染症対策をしつつ、お手次のご住職や門徒総代

員弁組委員会 委員

3列目左より

佐藤隆明、山内教真、佐々木玲、青木義恭、徳力雅之、木村知晃、木村祐邦、草薙善照
(福泉寺) (西念寺) (欣浄寺) (眞慶寺) (源光寺) (長伝寺) (教楽寺) (照順寺)

2列目左より

清原秀史、谷口輝孝、種村和人、渡邊邦俊、渡邊 淳、古寺道子、渡邊香泉、松原啓子
(演暢寺) (西念寺) (眞願寺) (松隆寺) (専福寺) (明源寺) (専福寺) (光明寺)

前列左より

松原 大、穂積致章、小林昭磨、小林良典、木村英昭、藤井純恵、藤田 智、日沖千恵美
(光明寺) (田口善教寺) (西岸寺) (西岸寺) (明法寺) (浄円寺) (蓮成寺) (徳善寺)

さんをはじめとした役員さんでよく話し合いをして、寺院活動や法要・法座にご参加、ご参詣をいただきたいと思います。

▼主任 草薙善照



イレギュラーなことが多発する情勢に戸惑いながらも、何とかつとめを果たしたいと思います。員弁組の皆様にはこれまで同様、組の諸活動には甚深なるご協力をお願いいたします。

最後に、組主任には草薙善照さん(桑名市友村・照順寺住職)を指名しました。員弁組の門信徒の皆様、員弁組のお寺さんにご縁のある皆様、どうぞよろしく願いいたします。

木村英昭(東員町大木 明法寺)

新型コロナウイルス感染症について

この度、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお念じ申し上げます。また、最前線で国民の健康福祉に貢献して下さっている医療従事者、介護従事者の皆さまに心より敬意を表します。

令和2年7月豪雨で被災された皆さまに

令和2年7月の豪雨により犠牲になられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

なお、熊本教区災害対策本部に「令和2年7月豪雨見舞金」50,000円を、員弁組として7月17日に送金いたしました。